

## 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

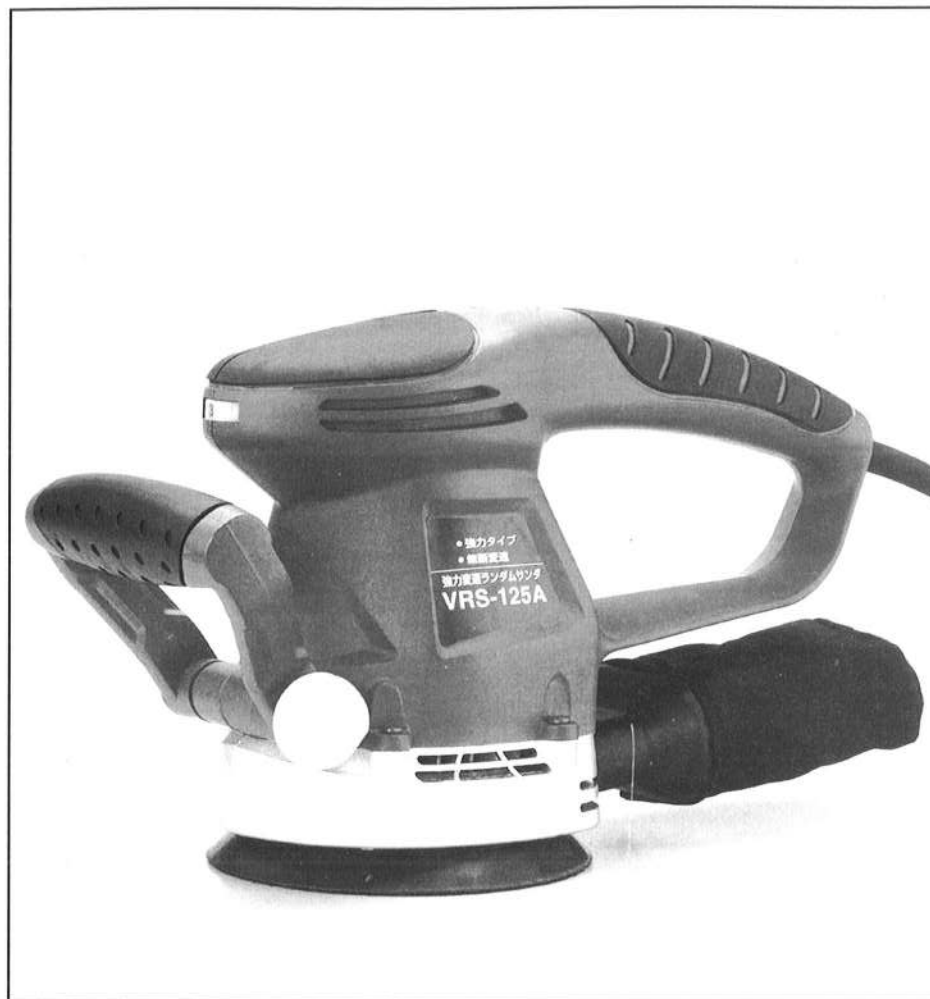
形名	変速ランダムサンダ VRS-125A		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	( )		
※販売店	住所			
	店名	☎ ( )		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

## 変速ランダムサンダ

# VRS-125A 取扱説明書



このたびは**変速ランダムサンダ**をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ず保存してください。

**SHINKO** 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

## 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
  - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
  - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※国本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

## △ 警告

### 1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

### 2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業者以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

## ⚠ 警告

### 3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

### 4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

## ⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

### 5.手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用后よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モータルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

■前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

## 変速ランダムサンダ使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、変速ランダムサンダとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

### ⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
  - ご使用前に本機の点検をおこない、ネジのゆるみがありましたら締めつけてください。万一、ヒビ割れ、破損等がありましたら修理に出してください。
  - 研磨具（サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフ）を取り付けるときはスイッチを切り、電源からプラグを抜いてください。
  - ラバーパットに研磨具（サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフ）の取り付けはマジックテープ式になっています。取り付けるときは、センターを合わせて全面を強く押しつけてください。
- Ⓐ ラバーパットの取り付け面には、必ず研磨具を取り付けてご使用ください。ラバーパットのままで研磨しますと、研磨具の取り付けができなくなります。
- ご使用のときはスイッチを入れる前に研磨具を加工面にあてた状態でスイッチを入れてください。
- Ⓑ 空転させますと研磨具が飛び出すことがありますので、必ず加工面に研磨具をあてた状態で回転させてください。
- 長期間使用しますとラバーパット、研磨具のマジックテープが弱くなりますので、新しいものと交換してください。
  - 本機に研磨具を取り付けて研磨する材料に押しあてますと、振動にかかります。（スポンジによるワックスがけも振動にておこなえます。本機に強く押しあてなければ回転します。）
  - 本機をご使用のときは、安全のため長袖、長ズボン、手袋、保護メガネ、マスク等を着用してご使用ください。

## 部品の名称

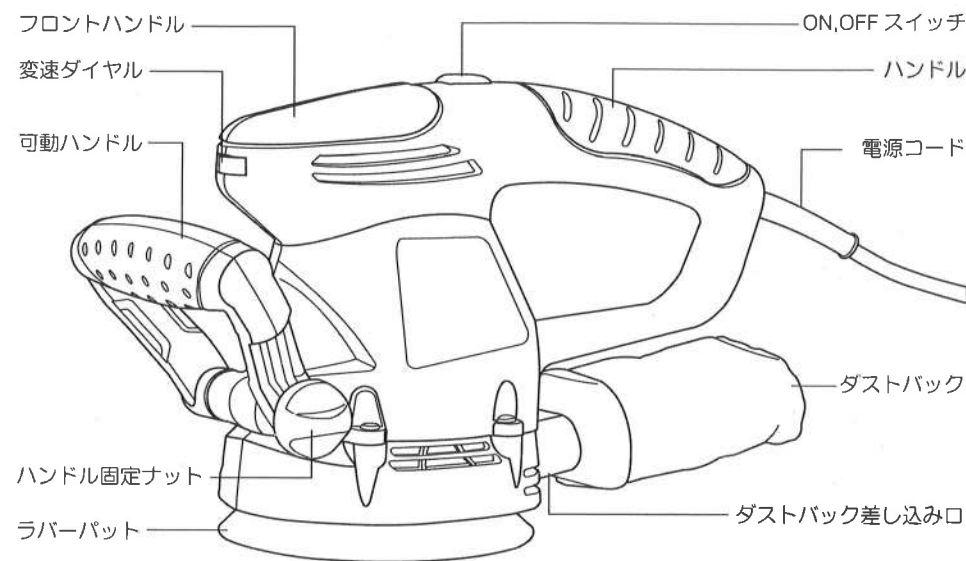


図1

## 仕様明細

形 式 名	VRS-125A
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	480W
電 流	5A
無 負 荷 回 転 数	4,000~10,100min <sup>-1</sup> (回/分)
ラバーパットの外径	φ123mm
研 磨 具 の 外 径	φ125mm
定 格 時 間	20分
重 量	1.9kg

※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

## 付属品の明細

付属品の名称	用途	入数
サンディングペーパー	(# 60) 研磨、仕上げ	1
//	(# 100) 研磨、仕上げ	1
//	(# 240) 研磨、仕上げ	1
スポンジパット	ワックスがけ	1
布バフ	ワックスのふきとり	1
毛バフ	つや出し	1
ダストバッグ	吸じん用	1
可動ハンドル	補助ハンドル (セットしてあります)	1

※消耗品の付属品(別売品)については、販売店にご相談ください。

※本文ではサンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフを研磨具と表示しております。

## 延長コードのご使用に付いて

- 延長コードの電流が流れるのに十分な太さのもので、できるだけ短いコードをご使用ください。
- 下記の表はコードの太さ(導体公称断面積)と最大の長さです。(参考)

コードの太さ (mm <sup>2</sup> )	最大の長さ (m)
1.25	10
2	25
3.5	30

## 用途

- 木工製品、金属製品、プラスチック製品などの研磨作業
- 家具、床、自動車などのワックスがけ、ツヤ出し
- 塗装はがし
- 金属製品の錆おとし

## 特長

- 強力パワーでコンパクトに設計してありますので、色々な作業ができます。
- 変速機能付ですので、作業の内容に応じて調整ができ、広範囲の作業が可能です。
- 付属品として、サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフがついていますので、研磨、ワックスがけ、ワックスふきとり、ツヤ出し、錆おとし等の作業ができます。

## ご使用方法

### ⚠ 注意

- 研磨具の取付け、取りはずし等をする時は必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により思わぬ事故の原因になります。

### ■可動ハンドルの調整方法

- 可動ハンドルは本機にセットしてありますので固定ナットをゆるめて角度を調整してください。調整がすみましたら強く締めつけてください。
- ④可動ハンドルが正確に固定されていない状態で使用しますと、ハンドルがずれてけがの原因になります。

### ■ラバーパットの取付、取りはずし方法(図2参照)

- ラバーパットは4本のネジで回転板に締め付けてあります。
- ラバーパット4本のネジをゆるめると取りはずすことができます。取付は逆の方法でおこなってください。

- ④ラバーパット固定ネジがゆるんでいますと回転時に、研磨する面にキズをつけることがあります。使用前にご確認の上、ゆるんでいましたら強く締めつけてください。

### ■ダストバッグの本機への取り付け、取りはずし方法

- ダストバッグの差し込み口を本機の差し込み穴に押し込んでください。
- ④ダストバッグは確実に奥まで差し込んでください。



図2



図3

### ■サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフの取り付け方法

- サンディングペーパーとラバーパットに穴があいています。穴を合わせて取り付けてください。穴が合わないと吸じん効果が得られません。(図3参照)
- サンディングペーパーの裏面にマジックテープがついていますので、ラバーパットに押しつけるだけで取り付けられます。
- ④サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフ等の取り付けは、センター合せをして全面を強く押しつけるように正確にセットしてください。センターがずれたり、接着が不十分なときは、回転時に飛ぶおそれがあり危険です。
- とりはずしは、サンディングペーパーの端をつかんで引きはがしてください。

## ■スイッチの操作

### ⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあります。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。

### ⚠ 警告

- プラグを電源に差し込んだままの持ち運びでは、スイッチを入れたまま行わないでください。思わぬ事故の原因となります。
- 本機のON・OFF切替スイッチを1側に押すとスイッチが入り、0側に押すとスイッチが切れます。

## ■変速ダイヤルの操作

- 変速ダイヤルは、①～⑥までの6段階スピードを調節することができます。
- ダイヤル番号①が低速で⑥番が高速になります。
- 本機は研磨、仕上げ、ワックスがけ、つや出し等幅広い作業ができるように変速機能がついています。用途に合ったスピードでご使用ください。
- 作業内容、研磨材料、使用する研磨具、によって異なります。作業をおこなう前にテストをしてから決めるようにしてください。

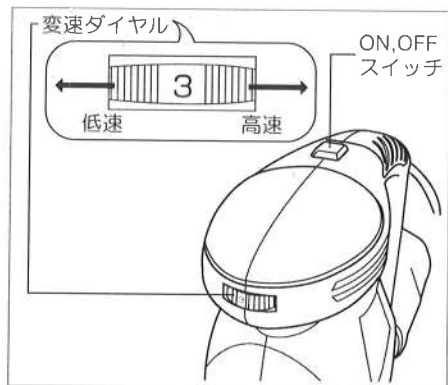


図4

### ●作業をするときの目安

作業内容	サンディングペーパーの粒度		変速ダイヤルの目安	研磨具
	荒削り	仕上げ		
金属の研磨	# 60	#100	4～6	サンディングペーパー
木材の研磨	#100	#240	3～5	//
塗装はがし	# 60	100又は240	4～6	//
塗装面の研磨	#100	#240	3～4	//
ワックスがけ			3～4	スポンジ
ワックスのふきとり			3～4	布バフ
ツヤ出し			3～4	毛バフ

Ⓙ上記の粒度、ダイヤルの位置は目安です。作業の内容に応じて調整してください。

- 消耗の付属品については販売店にご相談ください。

Ⓙ空転させるとサンディングペーパーが飛ぶことがありますので、加工面に当てた状態で回転させてください。

Ⓙラバーパットには必ず研磨具を取り付けてご使用ください。ラバーパットの取り付け面で研磨しますとマジックテープの接着ができなくなります。

- 本機は研磨する材料に押しあてないでスイッチを入れると回転します。本機に研磨具を取り付けて、研磨する材料に押しあてますと振動にかかります。

- スポンジによるワックスがけも振動でおこなえます。ワックスがけをしたら、布バフをかけて毛バフでツヤ出しをしてください。

Ⓙスポンジパットはワックスをつけてからご使用ください。

Ⓙご使用のときは加工面に研磨具を軽くあててご使用ください。強く押しつけますと作業能率が低下します。又、モーターの焼損につながります。

Ⓙ本機の定格時間は20分です。20分位連続使用して温度が上昇しましたら、少し休ませてからご使用ください。

## 保守、点検、修理について

- 本機を最高の状態で、安全にご使用いただくために、常に保守、点検をしてください。
- 保守、点検、修理をする前に必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
- 磨耗したサンディングペーパーは作業能率が低下しますので、早目に新しいものととりかえてください。また、マジックテープの接着力が弱くなったときにも、新しいものと交換してください。
- 汚れたスポンジパット、布バフ、毛バフを使用しますと、きれいに仕上がりにません。うすめの中性洗剤で洗って日影で干してから使用してください。
- ラバーパットは、長期間使用しますと、接着力が弱くなりますので、新しいものと交換してください。
- 各部の取り付けネジがゆるんでいないか、各 부품のヒビ割れ等がないか、点検をしてから使用してください。万一ネジがゆるんでいたら締めつけ、ヒビ割れ等の破損がありましたら修理に出してください。
- 作業が終わりましたら、本機のダストバックのゴミを捨て、清掃をして、湿気の少ない場所に保管するようにしてください。特に、お子様の手のとどかない場所を選んでください。

※本機についてのお問い合わせ、修理等につきましては、販売店、または当社までご連絡ください。